

### テレビ 瓦やチタン屋根材 相次いで「屋根」に焦点

3月は「屋根」を扱ったテレビ番組が相次いで放映された。

3月23日の午後7時半から30分間、NHKBSプレミアムで放送された「美の壺」のテーマは、そのものスバリ「屋根」。

おもに瓦と植物系屋根材が取り上げられた。瓦については伝統的建造物から、現代建築まで幅広い建築様式の屋根に現役で使われている実績を紹介。カメラは「現存する最古の瓦屋根」として、6世紀末に造られた奈良の元興寺に音かれています。

200枚の瓦を映し出す一方、建築家の隈研吾氏が設計した瓦屋根の根津美術館もクローズアップ。画面に登場した隈氏は、独自の傾斜屋根論も語った。

番組では本音形から椽瓦への歴史の変遷にも触れたが、この中では、認定の選定保存技術保持者である奈良の山本清一氏もコメントした。

翌24日、今度はBS-TBSの「夢の鍵」という番組で30分、佛力ナメのチタン屋根材が取り上げられた。浅草寺の本堂や五重塔に使われている施工事例のみならず、徳島県鳴門市の寺院でも、瓦からの音き替え工事が行われているとした。

またチタン屋根材の開発発までに6年かけたことや、製造工場の様子も番組のもう一つの軸は、同社の吉原正博社長。元銀行マンだったことも明かされたが、社員から「真面目な人」として慕われ、工事現場では近隣住民の安全を第一に考えて安全パトロールを行っていることなどが現場の大工職からも好評を得ているとされた。